

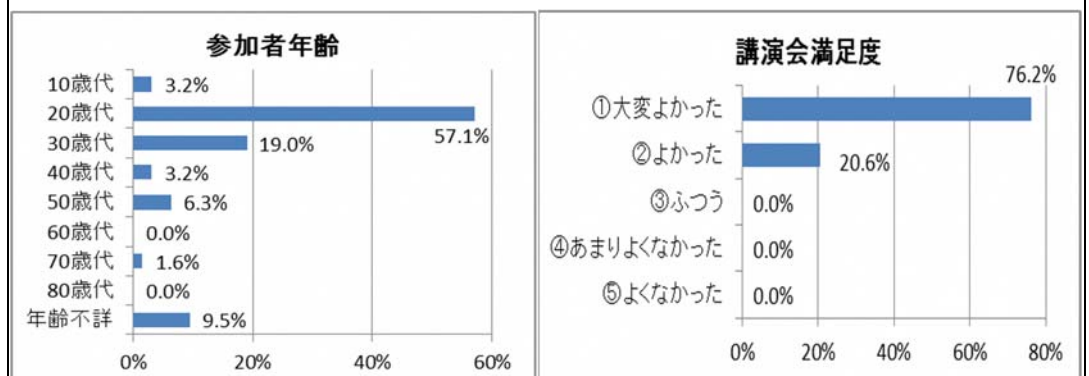
【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	長岡京市
取組の名称	学べる食育ひろば
実施時期	11 月
取組内容	<u>講演会「味覚の記憶は愛され記憶～幸せのもぐもぐメモリー～」</u> 【講 師】 神戸女子短期大学 食物栄養学科 平野 直美 教授 【日 時】 平成 30 年 11 月 19 日（月）午後 【内 容】 幼児の脳の発達には、栄養だけでなく食事中の会話や接し方が重要で、人格形成や好き嫌い等にも影響を与える。 【参加者】 89 名 ・ 20・30 代の子育て世代を中心に、孫のいる祖母の参加も見られた。 ・ 講演会の満足度が大変高く、「目からうろこだった」「子どもとの接し方を見直すことができた」「“味覚を育てるのは言語教育”“愛され記憶”の言葉がとても心に響いた」など、大変よかったという感想多数。子どもの食事や食環境をより良くするための強い動機づけとなる講演会であった。 ・ 受講者に、市や関連団体の食育に関する取組状況について伝えることを目的に、講演会会場には、フードバンク長岡京の取組内容、保育所での取組内容、地元特産品（筍・ナス・花菜）・郷土料理（筍料理といとこ汁）のパネル、長岡京市第 2 次食育推進計画概要版を展示した。



講演会の様子



【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	木津川市
取組の名称	食育レシピコンテスト
実施時期	平成30年10月14日（日）
取組内容	1 食育レシピの募集テーマ 「僕・私に任せて！オリジナル・アイデアレシピ」 ～野菜、魚を使ったレシピ～ 2 事業の目的 野菜、魚の摂取率を高め、市民の健康づくりを進めるためです。 3 募集方法：市内公立小・中学校の夏休みの課題の一つとしています。 4 応募者数：844通 5 選考方法 ①1次審査 管理栄養士2名による書類審査により入賞者5名を決定します。 ②2次審査 審査員5名により審査します。 入賞者5名が考案レシピを実際に調理したものを審査員が試食し、最優秀賞、優秀賞を決定します。 6 レシピの普及方法等 ①広報紙、ホームページに掲載しています。 ②ホームページで調理実演を配信しています。 ③市主催イベント及び市内の商業店舗で配架（2,468枚）しています。 ④入賞レシピを市内のレストラン等（2か所）で商品化（期間限定）していただいています。
	  

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府										
取組市町村名 取組団体・企業名	宇治田原町 宇治田原町立学校給食共同調理場										
取組の名称	うじたわらの日の献立										
実施時期	5月、9月、10月										
取組内容	宇治田原町における行事や記念となる日を「うじたわらの日」と位置づけ、郷土料理や地場産物をできるだけ多く活用した学校給食の提供を行っています。 <table border="1"> <tr> <td>5月17日</td> <td>永谷宗圓命日</td> <td>小学5、6年生を対象に、地域の方々によるお茶のふるまいがあり、希望者はお茶漬けもします。</td> </tr> <tr> <td>9月30日</td> <td>町制施行の日</td> <td>町の食生活改善推進員協議会の皆さまのご協力をいただき、2016年に町制施行60周年記念献立を考案しました。毎年、この記念献立を実施しています。</td> </tr> <tr> <td>10月第1週の金曜日</td> <td>田原祭りの日</td> <td>宇治田原町では祭りの日に鯖寿司を食べます。給食では、鯖のばら寿司を提供しています。</td> </tr> </table>		5月17日	永谷宗圓命日	小学5、6年生を対象に、地域の方々によるお茶のふるまいがあり、希望者はお茶漬けもします。	9月30日	町制施行の日	町の食生活改善推進員協議会の皆さまのご協力をいただき、2016年に町制施行60周年記念献立を考案しました。毎年、この記念献立を実施しています。	10月第1週の金曜日	田原祭りの日	宇治田原町では祭りの日に鯖寿司を食べます。給食では、鯖のばら寿司を提供しています。
5月17日	永谷宗圓命日	小学5、6年生を対象に、地域の方々によるお茶のふるまいがあり、希望者はお茶漬けもします。									
9月30日	町制施行の日	町の食生活改善推進員協議会の皆さまのご協力をいただき、2016年に町制施行60周年記念献立を考案しました。毎年、この記念献立を実施しています。									
10月第1週の金曜日	田原祭りの日	宇治田原町では祭りの日に鯖寿司を食べます。給食では、鯖のばら寿司を提供しています。									

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	南丹市
取組の名称	平成 30 年度広報なんたん「食はひとつくり、まちづくり」
実施時期	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
取組内容	2 ヶ月に 1 回、広報なんたん「食はひとつくり、まちづくり」にて、地域活動の紹介や食育推進計画各分野の内容を発信しました。 【紹介内容】 ◆ 8・9 月号 「本町夜店市×そのべ軽トラ市」とのコラボイベントについて 子どもたちも多く集まる「本町夜店市×そのべ軽トラ市」とコラボして野菜摂取拡大を目指し、啓発を行った様子を紹介しました。  1 日の野菜の摂取目標量となる「350g」の重さ当てを実施し、家族や友達と相談しながら「きゅうりは 1 本何 g かな?」「100g くらい?」と、手に取り、相談しながら体験される姿をお伝えしました。 ◆ 10・11 月号 美山町の「美山自然農法の会」について 美山町の「美山自然農法の会」会長 村田正夫さんに話を伺い、地域での食育の取り組みについて紹介しました。  地域で協力して取り組むことで、1 人では難しい活動もできる「地元力」が強みだということや、子どもたちへの農業体験を通して、食べ物の質について関心を持つきっかけになるような取り組みを続けていきたいという思いをお伝えしました。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	京丹後市
取組の名称	クッキング教室「ぼくとわたしのファーストクッキング」
実施時期	平成 30 年 7 月 31 日（火） 9：30～13：00
取組内容	目的：食えることは生きるための基礎であり、子どもの頃から自分自身で、食を選択する力や調理する力を身につけるため、家庭での食育の取り組みのきっかけづくりとする。 会場：網野保健センター 参加者：市内小学生 1～3 年生 20 名 従事者：健康推進課 栄養士 3 名、学校教育課 1 名 実施内容：講話と調理実習 【講話】 ・ そのまんま料理カードを使用し、カードでバイキング（4つの器） ・ ペープサートを使用し、なぜ食べなければいけないか ・ 「早ね早起き朝ごはんガイド」を使用し、朝ごはんの重要性について等 【調理実習】 ・ 自分でできる朝ごはんメニュー 実習内容 「ごはん、みそ汁、卵のココット」 ＜教室の様子＞ ・ 子ども達は、学年、経験等は異なりますが、積極的にやりたい！という意欲があり、楽しく調理実習ができました。包丁経験が少ない子には、スタッフがサポートしたり、できる事に取り組みました。 ・ 市内様々な小学校からの参加でしたが、教室の終わりには仲良く話ができました。



【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	福知山市 福知山市立三和中学校
取組の名称	①食の体験活動～地場産物を使って和食を作ろう～ ②中学生も食事で学力アップ～こんな食事だと・・・
実施時期	
取組内容	取組名① 「食の体験活動～地場産物を使って和食を作ろう～」 実施学年 中学1．2年生 メニュー：里芋ごはん 鯖の味噌煮 ほうれん草の白和え すまし汁 月見団子 婦人会などが取り組む「食の体験活動」を活用し、食いく先生と市食生活改善推進委員、婦人会の方々を講師に招いて調理実習を行いました。できるだけ地場産の食材を使用して、鯖の味噌煮をメインに稲刈りの時期に地域で食べられていた里芋ごはんなど5品を作りました。  取組名② 「中学生も食事で学力アップ～こんな食事だと・・・」 実施学年 中学1．2年生 食育コンシェルジュとして講演活動されている荻原彩子さんを講師として招き「食」についての講話を聞きました。中学校家庭科の授業の学習内容と関連させながら「食品の表示」や「選択方法」などについても学びました。 